

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成31年4月18日（木）

3. 調査の対象

泉佐野市立新池中学校 第3学年，全生徒

実施生徒数（ 145人 ）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、小学校は国語及び算数，中学校は国語，数学及び英語。

イ 出題範囲は，調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし，出題内容は，それぞれの学年・教科に関し，知識・技能に関する内容と，それらを活用する力や構想を立てて実践し評価・改善する力などに関する内容とする。

ウ 出題形式については，国語及び算数・数学においては，選択式及び短答式に加え，記述式の問題とする。英語においては，選択式，短答式及び記述式の問題に加え，「話すこと」に関する問題の解答は，原則として口頭式によるものとする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童生徒を対象に，学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施する。

(3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童生徒が在籍する学校を対象に，学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施する。

※平成29年度より，文部科学省から示される都道府県の平均正答率及び市町村の平均正答率は，整数となっております。

平成31年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国と比較すると、上位層が少なく、中間層が多い分布となっている。

平均正答率（本校 66／泉佐野市 65／大阪府 70／全国 72.8）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語	特徴がみられた設問
<p>○文章の構成や展開，表現の仕方について，根拠を明確にして自分の考えをもつ。 1－「日本の文化の中には，海外でも広く知られているものがあります。……第一回は，弁当です。」について説明したのとして適切なものを選択する。（54.9／63.9）</p> <p>○文章の展開に即して情報を整理し，内容を捉える。 1 二「海外に広がる弁当の魅力」で述べられている，弁当の魅力として適切なものを選択する。（50.7／61.5）</p> <p>○話合いの話題や方向を捉える。 2－話合いでの発言の役割について説明したのとして適切なものを選択する。（71.1／80.4）</p> <p>○相手に分かりやすく伝わる表現について理解する。 2 二話合いでの発言について説明したのとして適切なものを選択する。（64.1／69.7）</p>	<p>○話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ 2 三話合いの流れを踏まえ，「どうするか決まっていないうこと」について自分の考えを書く。（48.6／60.4）</p> <p>○伝えたい事柄について，根拠を明確にして書く 3 二広報誌の一部にある情報を用いて，意見文の下書きに「魅力」の具体例を書き加える。（62.7／77.8）</p> <p>○語の一部を省いた表現について，話や文章の中での適切な活用の仕方を理解する。 4 語の一部を省いた表現についての説明として適切なものを選択する。（71.1／78.7）</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	50.3	61.7	○	11.4
国語の勉強は大切だと思いますか	84.2	91.0	◇	6.8
国語の授業の内容はよくわかりますか	69.0	77.6	◇	8.6
国語の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか	79.3	88.0	◇	8.7
国語の授業で学習したことを，普段の生活の中で，話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか	54.5	71.6	○	17.1
国語の授業では，目的に応じて，自分の考えを話したり書いたりしていますか	67.5	77.4	◇	9.9

国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように根拠を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか	54.5	64.4	◇	9.9
国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいますか	58.6	68.4	◇	9.8
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました。どのように解答しましたか	93.8	97.0		3.2

○新聞記事などの情報を読みとり、整理して活用することに課題が見られた。資料を読み、判断したり自分の考えをまとめるような課題に取り組んでいく。

○自分の考えをまとめてそれを実際に話すように書くという問題に課題が見られた。国語の学習と実生活との関連づけがうまくできるような課題を増やしていく。

○短答式の問題はできているが、記述式の問題に課題があるので、「書くこと」に重点をおいて学習していく。

平成31年度全国学力・学習状況調査の分析（数学）

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比較すると下位層がやや多く上位層がやや少ない傾向がある。

平均正答率（本校 54／泉佐野市 54／大阪府 58／全国 59.8）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

数学	特徴がみられた設問
<p>○数の集合と四則計算の可能性について理解することに課題がある。 1 aとbが正の整数のとき、四則計算の結果が正の整数になるとは限らないものを選ぶ。 (46.5/62.2)</p> <p>○簡単な連立二元一次方程式を解くことは概ねできている。 2 連立二元一次方程式 $\begin{cases} y = -2x + 1 \\ y = x - 5 \end{cases}$ を解く。 (72.5/70.1)</p> <p>○平行移動の意味を概ね理解している。 3 $\triangle ABC$ を、矢印の方向に$\triangle DEF$まで平行移動したとき、移動の距離を求める。 (72.5/83.6)</p> <p>○反比例の表から、xとyの関係を式で表すことに課題がある。 4 反比例の表から式を求める。 (45.8/48.9)</p> <p>○簡単な場合について、確率を求めることは概ねできている。 5 2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも表の出る確率を求める。 (71.8/72.8)</p> <p>○グラフ上の点Pのy座標と点Qのy座標の差を、事象に即して解釈することに課題がある。 6 (1) 冷蔵庫Aの使用年数と総費用の関係を表す グラフについて、点Pのy座と点Qのy座標の差が表すものを選ぶ。 (35.2/35.8)</p> <p>○事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。 6 (2) 冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する。 (24.8/34.7)</p>	<p>○証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解することが概ねできている。 7 (1) 証明で用いられている三角形の合同条件をかく。 (73.9/75.8)</p> <p>○反比例の意味を概ね理解できている。 7 (2) ある予想に対して与えられた図が反例となっていることの説明として正しいものを選ぶ。 (67.6/77.2)</p> <p>○結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することに課題がある。 7 (3) 四角形ABCDがどのような四角形であれば、$AF=CE$になるかを説明する。 (50.7/53.3)</p> <p>○資料を整理した表から最頻値を読み取ることに課題がある。 8 (1) 読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数の最頻値を求める。 (50.7/57.9)</p> <p>○資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。 8 (2) 「1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多い」という考えが適切ではない理由を、ヒストグラムの特徴を基に説明する。 (32.4/40.8)</p> <p>○問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することに課題がある。 8 (3) 図書だよりの下書きに書かれているわかったことの根拠となる値として適切なものを選ぶ。 (53.5/53.6)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
数学の勉強は好きですか	58.2	57.9		0.3
数学の勉強は大切だと思いませんか	81.2	84.2		3.0
数学の授業の内容はよく分かりますか	75.6	73.9		1.7
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	72.7	76.2		3.5
解答時間は十分でしたか	87.8	84.7		3.1

○解き方や語句の意味を問う問題での正答率が、それ以外の問題と比べ低い傾向にある。その力を伸ばすためには、公式を授業で指導する際に、その根拠をより丁寧に指導をすることや数学的な語句を答える発問をしていく。

○記述式の問題において、正答率が低いことに合わせて、無回答率が高くなっている。このことから、自分の考えを上手く言葉で表現できず、そのことに自信が持てていないことが考えられる。この課題を改善するためには、授業の中で解答に至るまでの過程や根拠を説明する場面を作っていく。

○資料を整理した表から値を読み取り、資料の傾向を的確に捉え、問題を解決する力を問う問題において、全国と比較して低い傾向にあることから、基本的な知識の定着に課題がある。この課題を改善するためには、授業内での定着や復習などを促し、内容の定着を図っていく。

平成31年度全国学力・学習状況調査の分析（英語）

1. 全体の傾向

・平均正答率の全体的な分布状況は、全国より下回っている項目が多い。特に、【読むこと】に課題がある。

平均正答率（本校 53／泉佐野市 53／大阪府 56／全国 56.0）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

英語	特徴がみられた設問
<p>【聞くこと】 ○まとものある英語を聞いて、話の概要を理解することが概ねできる 2－イギリスと日本の類似点や相違点についてのスピーチを聞いて、話の展開に合わせて示す絵を並び替える (62.0/71.8)</p> <p>○まとものある英語を聞いて、必要な情報を理解することが概ねできる 2－天気予報を聞いて、ピクニックに行くのに最も適する曜日を選択する (72.5/82.0)</p> <p>○聞いて把握した内容について、適切に応じることができる 4－来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書くことに課題がある (1.4/7.5)</p> <p>【読むこと】 ○まとものある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することに課題がある 7－チンパンジーに関する説明文とその前後にある対話を読んで、書き手が最も伝えたい内容を選択する (29.6/32.8)</p>	<p>○書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることに課題がある 8－食糧問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の意見を書く (14.8/10.9)</p> <p>【書くこと】 ○一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことに課題がある 9－(2)②与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く (29.6/28.9)</p> <p>○与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとものある文章を書くことに課題がある 10－学校を表わすピクトグラムを比較して、どちらがよいか理由とともに意見を書く (0.7/1.8)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
英語の勉強は好きですか	45.5	56	○	10.5
英語の勉強は大切だと思いますか	77.9	85.4	◇	7.1
英語の授業はよく分かりますか	61.4	66		4.6
英語の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思いますか	82.8	84.4		1.6
あなたはこれまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありました	33.8	33.8		0
あなたは将来、積極的に英語を使うような生活をしたたり職業に就いたりしたいと思いますか	52.4	41.3	○	11.1

1, 2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	67.6	79.2	○	11.6
1, 2年生のときに受けた授業では、英語を読んで概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	68.2	81.2	○	13

○資料の読み取りの問題や聞き取った内容を踏まえて、自分の考えを書くことは正答率が低い

○基本的な英作文に課題があると考えられる。

○リスニングの練習は、週2回ほどしているのですが、引き続き実施するとともに、内容にも踏み込んで質問に答える練習を行っていく。

○長文になると、英語の量に負けてしまい、最後まで読み切れずに終わっている。2年時より継続している活用問題の出題は引き続き行い、授業でも教科書よりも多い分量の資料を読み取り、英語を読む練習を行う。

○英作ノートをフル活用し、英作文のトレーニングを行っていく。

○スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する機会や、自分の考えや気持ちを英語で書く活動、聞いたり読んだりしたことについて、英語で問答したり、英語でまとめたりする活動を取り入れるなど、授業改善を全ての学年で実施していく。

平成 31 年度全国学力・学習状況調査の分析（生徒質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きい特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子】	朝食を毎日食べている生徒は、全国を下回っている	朝食を毎日食べていますか <u><82.7/93.1></u>
	家の人と学校の出来事について話す生徒は、全国を下回っている	家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか <67.6/76.4>
	自己肯定感の高さは、全国を下回っている	自分には、よいところがあると思いますか <68.3/74.1> 将来の夢や目標を持っていますか <67.4/70.5>
【家庭学習の様子】	勉強時間については、3時間以上行う生徒が、全国を上回っている一方、全くしない生徒も全国を上回っている	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わってる時間も含む）
		3時間以上 <17.2/9.9>
		2時間以上、3時間より少ない <25.5/25.6>
		1時間以上、2時間より少ない <24.8/34.3>
		30分以上、1時間より少ない <11.7/17.2>
		30分より少ない <9.0/8.4>
		全くしない <11.7/4.4>
	普段読書をする生徒については、全国を大きく下回っている	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）
		2時間以上 <4.1/4.8>
		1時間以上、2時間より少ない <4.1/7.6>
		30分以上、1時間より少ない <8.3/14.6>
		10分以上、30分より少ない <7.6/23.4>
		10分より少ない <8.3/14.8>
全くしない <u><67.6/34.8></u>		
	読書は好きですか <u><47.5/68.0></u>	

<p>【学校での 学習の様子】</p>	<p>授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思っている生徒は、全国を大きく下回っている</p> <p>授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている生徒は、全国を大きく下回っている</p> <p>総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると感じている生徒は、全国を大きく下回っている</p>	<p>先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか <u><63.5/84.6></u></p> <p>授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか <u><58.6/74.9></u></p> <p>総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか <u><33.1/61.5></u></p>
-------------------------	---	---

本校の取組

◎これまでの取組

- ・昨年度から、「確かな学びを育む学校づくり」の実施校として授業改善に努めている。
- ・1年生の英語科，2年生の国語科，3年生の数学科で少人数習熟度別指導を行っている。
- ・全学年で朝の学習を実施している。
- ・eライブラリの，学習プリントや全国入試問題の過去問を利用して，学習内容の定着を図っている。
- ・まなびんぐサポート事業を活用し，1年生の希望者に対して放課後学習を実施している。
- ・長期休業中には，全学年で補充学習を実施している。
- ・テスト前に補充学習を実施し，全学年の教員で関わって行っている。
- ・家庭学習を定着させるために，学年や学校全体でマイチャレンジ（自学自習ノート）の取組みを行っている。
- ・iPadやパソコンを用いた授業を行っている。
- ・情報教育についての授業を実施している。その中で，スマートフォン・携帯電話の使用に関する学習を通して情報モラルについて理解を深めている。
- ・泉佐野スタンダードを用いて，授業担当者向けのアンケートを実施し，日々の授業の振り返りを行っている。
- ・「確かな学び」委員会が主催して，学期ごとに研究授業を実施している。今年度は，「全ての生徒がわかったら楽しい，できたら嬉しいを実感できる授業をめざして」をテーマに，取組みをすすめている。
- ・相互授業参観週間を設け，教員同士高め合える関係作りを行っている。
- ・市内統一アンケートの結果を分析・検証し，指導につなげている。
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け，大阪府教育センターと連携して，校内研修を実施している。
- ・「英語教育推進事業」のモデル校として，授業公開を実施し，大学教授の助言を受け，コミュニケーション力を育成するための授業改善をすすめている。
- ・学期ごとに，生活アンケートを実施し，生徒一人ひとりの教育相談も行うことで，生徒の状況把握に努めている。
- ・6月にhyper-QUを実施し，その分析・検証を校内研修で行い，本校の生徒の状況把握や理解に全職員が努めている。
- ・今年度も新池中学校区の小学校とも合同で研修を行った。
- ・4月に生徒指導に関しての校内研修を実施し，全職員が同じ方向性を持って指導できる環境や体制を構築している。
- ・生徒会や部活動に参加している生徒を中心に，青少年指導員やPTAの方々とともに校区内の地域活動を行っている。
- ・11月に実施した新池ふれあいフェスタでは，地域の方々と生徒会で，防災に関する取組みを行った。

◎これからの取組

- ・2回目のhyper-QUを11月に実施し，生徒の状況がどのように変化したのかを校内研修で分析・検証し，生徒一人ひとりの状況や学級の状態を的確に把握することにより生徒理解を深めながら，より適切な指導や対応につなげていく。
- ・11月に「確かな学びを育む学校づくり」の実施校として学校公開を行う。
- ・12月に3日間オープンスクールデーを設け，地域に学校を開く。
- ・「確かな学び」委員会主催の校内研修を12月に行う。
- ・「確かな学び」委員会主催の研究授業を3月に実施する。
- ・iPadを用いた，個別最適化の学びを実現していく。
- ・生徒授業アンケートの実施と結果分析を行う。